

# 高知くらしの護身術

275

## TVの転倒

### 壁や柱に本体固定を

(2013年2月12日掲載原稿)

地上デジタル放送への移行時に東日本大震災が発生し、地デジ対応テレビの転倒・転落事故が多数報告されました。地震でテレビが転倒・転落すると、テレビ本体が壊れるだけでなく、けがをする危険があります。

国民生活センターがテレビの転倒対策について一般消費者2千人にアンケートをしています。最も多い37.8%の方は「テレビの地震転倒対策があることを知らなかった」と答えています。「必要性を感じながら実施していない」の32.7%を合わせると約7割あり、「実施している」との回答は約3割でした。家電量販店7社へのアンケートでは「購入時には転倒防止対策の必要性を伝え、設置時には要望に応じて転倒防止策を実施する」との回答でした。

また、国民生活センターが地震波による振動試験を行った結果、テレビの大きさや転倒防止対策の方法によって多少の違いが見られましたが、対策を行うことで転倒や落下を軽減できることが確認できました。

粘着マットやネジなどでテレビのスタンドを固定することもあります。激しい揺れなどでテレビ本体とスタンドをつなぐ部品が損傷すれば、テレビ本体が前に倒れてくる可能性があります。特に大型のテレビでその可能性が高いと思われます。スタンドをテレビに固定するだけでなく、テレビ本体を壁や柱などに固定するとより安全性が高まります。

「家具の固定はしているが、テレビの転倒防止はまだ」という方もいらっしゃると思います。忘れずに対策を行いましょう。